

2016年6月15日 発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter

No. 172



福井県理学療法士会

発行人：福井県理学療法士会
〒910 福井市西方 1-2-11
-0855 嶋田病院
会 長：四谷 昌嗣
ニュース編集部：大谷 尚史
会員数：815名
施設数：142施設
(平成27年6月30日現在)

代表理事就任あいさつ

福井県理学療法士会代表理事 四谷 昌嗣

平成28年5月22日の社員総会において代表理事を務めさせていただくことになりました公立丹南病院の四谷です。

福井県理学療法士会は昨年度、公益社団法人化および設立40周年を終え、今年度から新たなステージへと歩み始めました。

さて、会員の皆さんは、福井県士会活動（研修会や広報など）の企画・運営に参加されたことがありますか？

福井県士会では、今年度よりブロック局を新設することとなりました。昨年度までも「顔の見える活動」を展開してきましたが、今後はより多くの会員の声を反映して活動への参加を促し、来る地域包括システム開始に備え組織の強化が必要不可欠であると思い、「全員参加型で顔の見える活動」を目標にしていきたいと考えています。日本理学療法士協会では本年度、各士会のブロック化推進による組織強化と指定管理者（初級）育成を実施し、質の向上のための人材育成に力を注いで士会組織強化に向けての活動を計画しています。福井県士会も協会の組織改編に遅れをとることなく、士会の組織強化と、協会との連携強化を図っていきたいと考えています。

平成29年には東海北陸理学療法学会大会、平成30年には福井しあわせ元気国体・しあわせ元気大会が開催されます。両大会とも多くの会員の皆さんの力が必要です。特に、若い会員の皆さんには積極的に参加して頂きたいと思います。

福井県士会は皆さんの活動をしっかりと支援していくと同時に、多くの課題解決にしっかりと取り組んでいきたいと考えます。皆様のご協力をお願いいたします。



2016年6月15日

副会長挨拶

藤田神経内科病院 白崎 浩隆

このたび、四谷会長より副会長を仰せつかりました、藤田神経内科病院の白崎浩隆です。私は平成4年から福井理学療法士会広報部（現在はニュース編集部）より役員をさせていただきました。当時の会員数は95名、現在は10倍近くの会員数となり、士会も一般社団法人から公益社団法人へと変わり、「役員」から「理事」に変わりました。昨年度まで財務局長を務めさせていただきましたが、副会長になっても会員の皆様から頂戴した大切な会費を県民の方々の利益になり、士会員の質の向上につながるような士会運営が行われるようにしていきたいと思っております。先日での総会でも既会員の方の参加が少ないことがとても気になりました。多くの会員の方が士会活動に興味を持たれ、参加していただけるよう努力していく所存です。2年間、どうぞよろしく願いいたします。



新任局長・理事挨拶

職能局局长 安土整形外科医院 蟹本信一郎

この度職能局局长を務めさせていただく安土整形外科医院の蟹本信一郎と申します。平成2年に理学療法士免許を取得し同年福井県理学療法士会に入会しました。その頃より士会の部員として事務局や福祉局等でお手伝いさせていただいており、平成13年頃には診療報酬部（現在の職能局医療保険部）に所属しておりました。平成18年からは理事として学術局や教育局で会員の皆様の学術的研鑽のお手伝いをさせていただいておりました。今回からは職能局ということで理学療法全般の管理運営の提案や、医療・介護保険の情報収集等を行ってまいります。会員の皆様が世の中で必要とされる存在であり続けるため、又若い会員の皆様の10年後20年後の未来を考え、一人一人のご意見が反映できるような局にしていきたいと考えておりますので、どうぞ皆様お気軽にご意見等いただけたら幸いです。よろしく願いいたします。



ブロック局局长 越前町国保織田病院 川端 昭宏

今年度より新設されたブロック局局长を務めさせていただきます、越前町国保織田病院の川端です。ブロック局の活動は徐々に確立されてきていますが、ブロックによる差も大きいという指摘もありました。県士会として、ブロックによる活動のガイドラインを提示しながらも、ブロックの特性を生かした活動で県士会を盛り上げていきたいと思っております。会員規模が大きくなってきていますので、各ブロックで県士会の活動に参加される方、されていない方の差を埋めていくべく、全員参加を指針としてブロック活動・ネットワークを広げていきましょう！！

近い将来各ブロックは、県士会の支部として独立性の強い活動が期待されます。これから数年は大事な時期です。皆さん、力をお貸しください！！



2016年6月15日

社会局局长 有限会社ほっとリハビリシステムズ 吉本與史一

この度、社会局局长となりました、有限会社ほっとリハビリシステムズの吉本與史一でございます。前任の板本先生が築き上げられた功績の大きさを強烈に感じつつ、更なる高みを目指して、楽しみながら活動してまいります。

今、激動の時代において理学療法士の真価が問われております。ただ免許を有しているだけで良い訳はなく、成果を出せる理学療法士が求められる時代でございます。しかもその成果とは、自分達が「やりたいこと」ではなく、世の中に「求められること」に対しての成果であると考えます。保健～医療～福祉、あるいはその他の分野において、社会が抱える課題を的確にとらえ、理学療法士の職能をもって解決に導くことが重要ではないでしょうか。

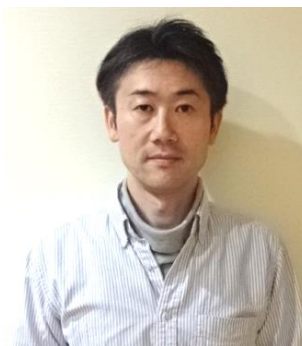
社会局では、一般の方々への啓蒙活動・多職種協同・スポーツ支援・国際交流活動を通じて、理学療法士にしかできない社会貢献のかたちを創造します。是非とも、我々の活動にご注目下さい。



職能局担当理事 梅田整形外科 西潟央

職能局担当理事を拝命しました西潟と申します。非常に重責の役割を頂きました。理学療法士としては、新生児から終末期医療、介護老人保健施設の勤務経験があり急性期から生活期リハ全般に携わってきました。しかしお恥ずかしいことに誇れる専門性はありません。あえて自分の専門領域と言うと、キャリアデザイン、人材育成、組織人事、オペレーション（組織内のルールや手順の仕組みづくり）、TQM(Total Quality Management:改善)です。これらは、理学療法とは直接関係ないとは思われます。組織人や仕事(職能)、地域包括ケアシステムも含めた枠組みで捉えると士会員の皆様に何らかの関係があると考えます。

士会員の皆様の所属する施設や地域、さらに福井から全国に向けて(高齢化の進んでいるアジア?!)まで、新しい提案・発想・知恵を発信できる理学療法士が益々増えるよう、職能(職をより良く発展し提案できる)局を通じて尽力するつもりでおります。宜しく願い申し上げます。



社会局担当理事 有限会社リハぷらす 後藤優香

本年度より社会局の担当理事になりました、有限会社リハぷらすの後藤優香と申します。今回理事会推薦ということで、正直戸惑いもありました。自分にはどれだけのことができるかはわかりませんが、嶺南圏域の一員だからできること、また女性という立場からできることを精一杯行い、若い会員の方が参加しやすい県士会作りに少しでも貢献できるように、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。



2016年6月15日

社会局担当理事 木村病院 柴田恵輔

今年度よりはじめて理事をさせていただきます。これまでは地域の病院での業務を行いながら、福井県理学療法士会では10年以上にわたってニュース編集部の活動に関わってきました。その活動を通して福井県理学療法士会の活動やそれを取り巻く環境が大きく変わってきている事を感じてきました。これから私たちは社会のニーズにこたえられるように多様な活動を行っていかねばならなくなってきました。理学療法士の専門性をしっかりと発揮しなければなりません。

今回、理事をさせていただくにあたり社会局、広報部を主に担当させていただきますことになりました。会員の皆様が行う活動を世の中にしっかりと知っていただけるように発信することが広報部の大事な仕事と考えております。7月にはできたばかりのハピリンでの理学療法展が控えております。そのような活動が盛り上がり続けるよう力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。



事務局担当理事 福井大学医学部附属病院 松村真裕美

理学療法士数は年々増加傾向で福井県士会会員も今年800名を超えました。日本理学療法士協会会員の男女比は6:4となり、福井でも若手女性理学療法士増えつつあります。福井県内の女性理学療法士においては、理学療法士として続けていきたい意欲はあるがライフステージの変化により学会参加等の学ぶ機会が減ることが明らかとなりました（女性ライフワークバランス委員会アンケート、2015）。ライフステージが変化しても理学療法士として大切な「生涯学習力」が発揮できる環境を保障することは、理学療法士全体の質低下を防ぐための必須項目だと私は思います。

会員向けメール配信、ホームページでの情報公開、ライフワークバランス検討委員会の活動を通して、男女問わず県士会員が平等に学べる環境づくりに力を注ぎたいと思います。



ブロック局担当理事 福井勝山総合病院附属訪問看護ステーション 伊藤宏高

今年度よりブロック理事になりました福井勝山総合病院附属訪問看護ステーション所属の伊藤です。主に坂井ブロック・奥越ブロックを担当することとなりました。

新規に立ち上がった局の理事ということで、今まで以上に各ブロックの活動を盛り上げていけるよう頑張りたいと思います。ブロックという規模によって、各県士会員からより多くの要望など取り入れて研修会や情報の発信などを各局と連携して、県士会員の皆様に行き届くように努めたいと思います。



2016年6月15日

施設紹介

医療法人 積善会 介護老人保健施設 ひばりヒルズ

理学療法士 河島 知美

平成10年2月、野坂山のふもと、ひばりヶ丘に精神科病院併設の介護老人保健施設としてオープンしました。私達スタッフは、明るい笑顔と暖かいケアをモットーに、利用者様個々の特性に応じた、きめ細かなケアに努めています。



当施設は一般療養棟・認知症専門棟・通所リハビリテーションがあります。敦賀で初めての認知症専門棟であり、認知症によりご家庭での介護が困難な要介護1以上の方が入所可能です。又、短期入所、通所リハビリテーションは、要支援1～要介護5までご利用頂けます。一般療養棟、認知症専門棟ともに、清潔な環境の中、楽しくリハビリをしながら、ゆったりと毎日を過ごして頂けます。



リハビリスタッフは理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名にて日々の入所・通所業務に携わっています。

これからも、心と身体のリハビリテーションを丁寧に行い、利用者様一人一人の生活の質を高められるような介護を目指し、御家族様に信頼され、地域に愛されるよう努めてまいります。

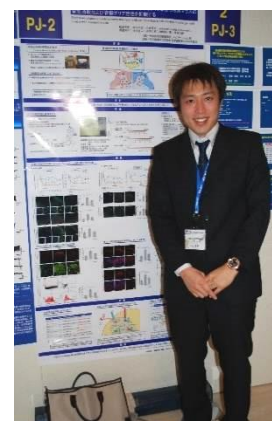
2016年6月15日

Professional ~Style of works~

Profile

プロフィール

- ・氏名：松尾英明
- ・所属先：福井大学医学部附属病院
- ・修得資格：認定理学療法士（運動器）
- ・経験年数：8年
- ・出身校：金沢大学医学部保健学科理学療法学専攻
- ・その他の資格：がんのリハビリテーション研修終了



Questions

Q1 この資格を取得しようと思った理由を教えてください。

普段の臨床で行っている事を再確認し、さらに研鑽するために資格取得を決心しました。

Q2 この資格に関わる魅力を教えてください。

現在のところ取得した事で直接的なメリットがある資格ではありません。資格取得までの研修会などで学んだ事が知識の再確認や整理に有益であったと思います。

Q3 この資格を取得して良かったと思うことを教えてください。

上述の通り、資格取得までの研修会などで学んだ事が知識の再確認や整理に有益でした。意外に必須研修会の機器管理、職場管理、ハラスメント関連、医療倫理など大学時代以来受講していないような講義でも新鮮で知っておくべき事であると感じました。

Q4 この資格を取得するために大変だった事などを教えてください。

必須研修会、指定研修で受講した内容が試験として出題されます。優しい講師であれば出題する箇所を教えてください。その部分を中心にじっくり内容を理解して記憶しました。あとは普段の臨床の1例1例で調べ物を行い、頻繁に様々な講習会や学会に参加、発表しているうちに身についた知識で乗り切れました。

Q5 今後のセラピスト活動に対する計画や目標、希望などを教えてください。

急性期病院におけるリハビリテーションはもちろんですが、より良いリハビリテーションを提供できるように臨床研究、基礎研究に励みたいと思います。

2016年6月15日

2016年度 福井PNF特別勉強会

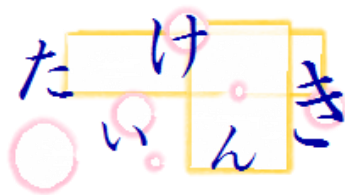
- 日時：平成28年7月3日（日）9：00～16：00（受付 8：30～）
- 会場：福井赤十字病院 リハビリテーション科
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>

- 講師 市川 繁之 先生

国際PNF協会認定アドバンスインストラクター
NPO法人日本PNF協会理事長
ヒューマンコンディショニングPNFセンター
元 読売巨人軍コンディショニングアドバイザー

- テーマ：「体幹に対するPNFアプローチ」
- 対象：医師、理学療法士、作業療法士
- 参加費：5,000円
- 申し込み方法
氏名、ふりがな、勤務先、所属、職種、連絡先アドレスを下記までメールでお申込みください。
*携帯メール、フリーメールアドレスには、返信できないものがありますのでご注意ください。
申し込み締め切り：平成28年6月25日
*実技のできる服装でお越しください。昼食はご用意いただくか、会場の売店、コンビニをご利用ください。
- 申し込み先：福井赤十字病院リハビリテーション科
矢部信明、中山泰博
- E-mail： yabe@jpnfa.jp TEL：0776-36-3630

2016年6月15日



「介護保険部研修会を開催して」

ほっとリハビリシステムズ 村中徳市

今回、介護保険部にて、「対集団，グループと理学療法」と題名で，研修会を開催しました。参加人数は27名で，講義と簡単な実技をさせていただきました。

目的としては，通所やショート，地域支援等にて，「個人対集団・グループ」が求められる中，リハビリの効果をどう掛け算としてすすめていくのかを話しました。

集団体操では，マンネリ化を防ぐ為に，やり続ける体操とイベント的体操を分けて工夫を行い，集団での体操を盛り上げていく為に，会話の仕方や集団の中でも戸別の対応を行う事を話しました。

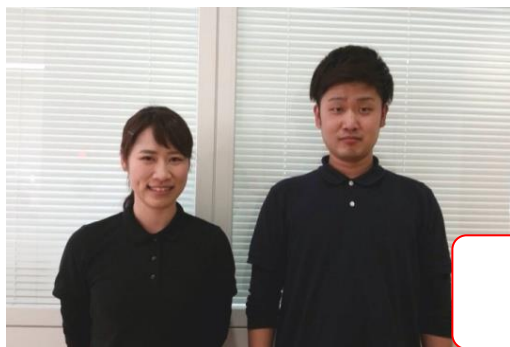
グループでは，どのようにグループを分けるか，より理学療法士が個別の評価を行っていくか，グループリハの意味合い，またピアサポートの考え方，役割の必要性を伝え，最後に軽度ですが，体操ポイントのチェックシートを使用し，実際に集団体操を施行しました。

今後も一理学療法士が，複数の方々に対し，どうアプローチ等をすすめていくのかをさらに検証し，深めていけたらと思います。



2016年6月15日

新人紹介



◇嶋田病院◇
慶塚優希、水上皓迪

今年もたくさんの新人職員
が入会しました。一部ですが
ご紹介させていただきます。



◇大橋整形外科医院◇
佐々木 敬志



◇福井大学医学部附属病院◇
庄司一希、前友理



◇安土整形外科医院、大森整形外科リウマチ科◇
中村竜也、岩田健太

◇大森整形外科リウマチ科、平谷こども発達クリニック◇
齊藤優佳、栗田梨渚 左より

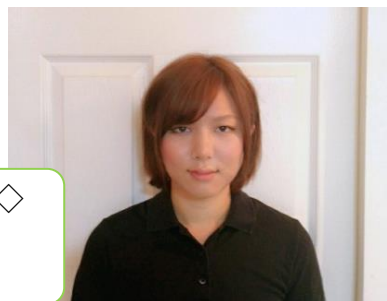
◇有限会社ほっとりハビリシステムズ◇
垣内成美、川西翔吾、山下真理子



2016年6月15日



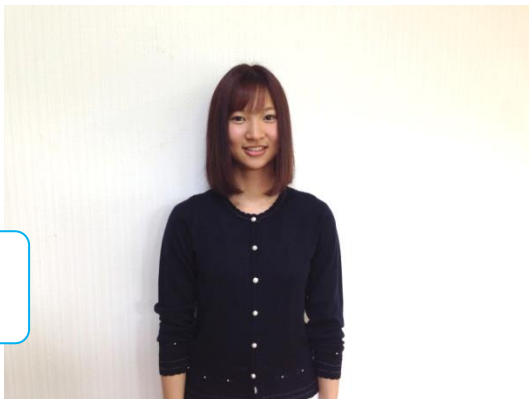
◇福井総合病院◇
高岡咲依、吉岡ゆかり、谷口奈津希、中谷健



◇リハビリデイサービスわかすぎ◇
清家 彩花



◇春江病院◇
平山貴寛、山田智也、近藤駿希



◇中瀬整形外科◇
北野里奈



◇至捷会 木村病院◇
田中里佳、佐藤加奈、板橋哲志

2016年6月15日

【編集後記】

今年も早や6月となり1年の折り返し地点となりました。春からPTになられた方は国家試験の突破や、更には4月から慣れない仕事に四苦八苦しなごらのあつという間に過ぎたような激動の半年間だったのではないのでしょうか。

ニュース編集部ではこれからも本誌を通して様々な情報発信を行い、新人の方々だけでなく、会員の皆様にも有益な情報をお届けできればと思います。(D. T)

賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	酒井医療 (株) 中部支店 名古屋営業所 金沢オフィス 石川県金沢市弥生 2-6-16
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	ハシノメディカル 小浜市千種 1-10-18
福井医療株式会社 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
順不同	